

池田町の財政（ハコモノ編）

勝山町長は、「ハープセンタ―の指定管理者制度への移行」「美術館の改革」を自らの「実績」としてあげています。今回は、バブル期以降に沢山建設された、いわゆるハコモノについて考えてみます。

指定管理だけで問題は解決するのか

ハープセンタ―は、現在の「てる坊市場」による指定管理になる以前は、町の振興公社が経営する施設でした。平成4年の出発から21年までの17年間に注がれた町費は、管理費補助金だけでざっと2億5千万円。これに公有財産購入費、振興公社安定対策基金、周辺整備委託料、鑑賞園運営費などを加えると実に6億円を超える額になります。

指定管理制度に移行する際には、なぜこのような結果になったのか一切問題点を明らかにせず、「てる坊市場」に管理を丸投げしたというのが町長の「実績」でした。毎年支払う1150万円の管理料には鑑賞園の管理料も入ってい

ると町は説明していますが、実際には「てる坊市場」の手に余っているのが実情。それまで鑑賞園はハープセンタ―とは別に、毎年1000万円をかけて整備していたのです。

3年で1億円の赤字を余儀なくされる美術館

勝山町長は美術館の「改革」（民間館長の就任、ギャラリーの設置、スケッチ用テラスの設置など）を「実績」としています。新館長のもとでの努力や改革は当然評価できますが、反面新たな企画展にともなって出費もかさみ、それに見合うだけの収入が得られないジレンマに陥っています。

改革の努力をつづけることは必要だし当然のことですが、長期的に見て現在の内容や運営形態で美術館を維持することが適切かどうか、どのような理念や改革の方向があるのかを真剣に考えなければならぬ時期にきているといえます。

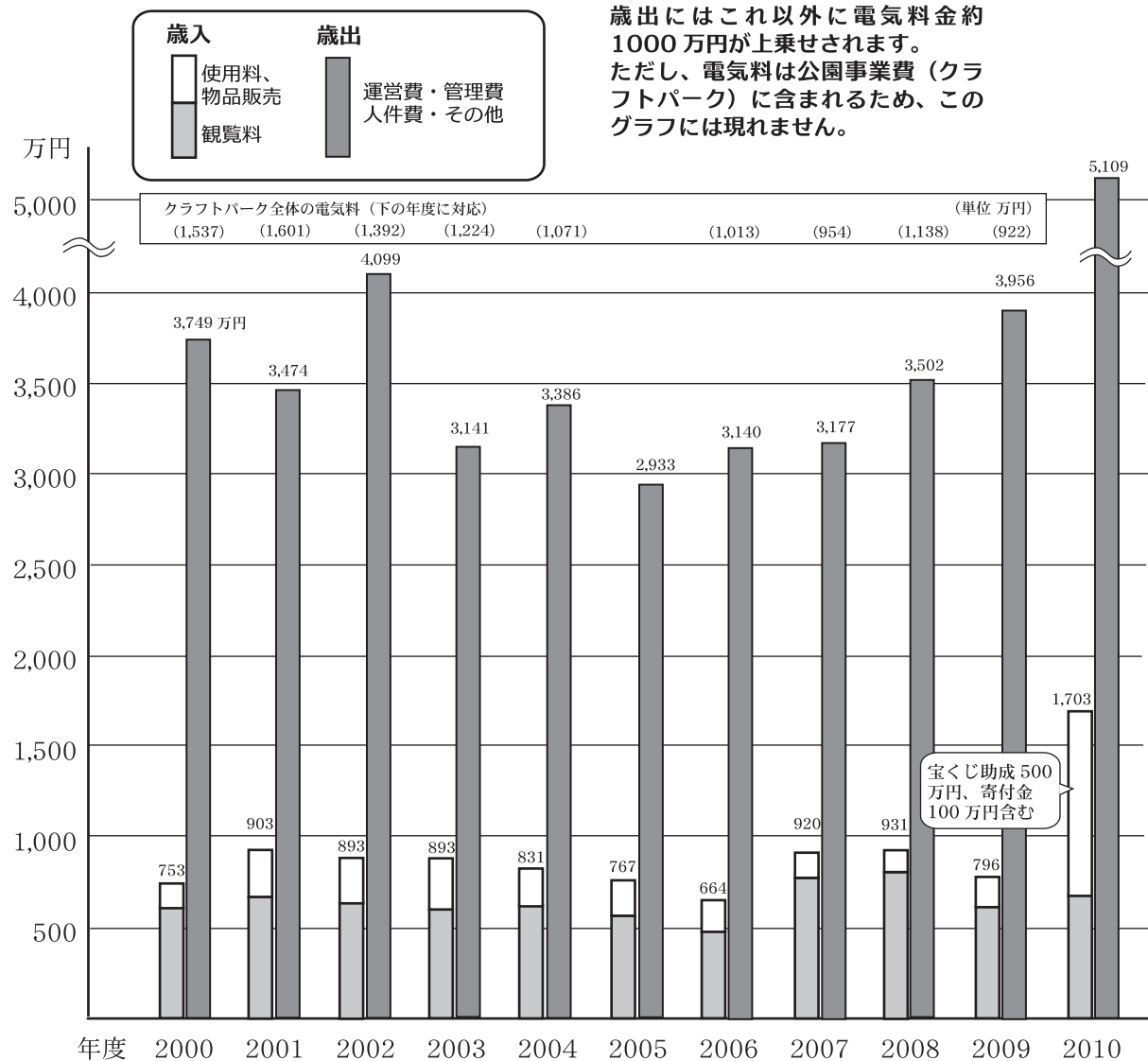
数年前に発表された「芸術文化による地域振興検討委員会」の報告は、詳細な検証を行って

「指定管理者制度の導入」を含む「経営形態の根本的見直し」を提言しています。指定管理者制度が良いかど

うかは脇に置くとしても、財政的にはこれだけの歳出超過は過重な負担です。私たち町民の側からも、実態

を正しく知り、今後のあり方を真剣に議論していくことが求められています。（文・グラフ 村端浩）

美術館 収支決算の推移



速報

3月議会から

牛越 邦夫

防災対策の推進

池田町町議会3月定例会一般質問が15、16日に行われ、議長を除く11人全員が町の諸問題について質問に立ちました。

勝山町長の第2期目の出馬表明を受けて、町長の政治姿勢を問う質問も多く見られました。ここでは、町民生活にかかわる身近な課題の回答について紹介します。

人口増・若者定住対策

若者の定住、人口増対策についての質問に対して、町は「子育て支援、保育園、義務教育、社会福祉などで若い人から見て魅力ある町にしたい」「低価格・低家賃住宅の提供で移住しやすい環境を作りたい」としながら、「高卒までの医療費無料化は、子育て支援効果が期待できないので実施しない」との回答にとどまりました。



3月議会で質問に立つ薄井議員

利用し、医療は大北医師会で対応する。

⑤防災計画策定委員会の構成は、町長、議長、教育長などだが、今後女性の委員も含めたい。

教育行政について

国の方針で中学1・2年生の武道が選択から必修科目に変更になったことへの町の対応について何人かの議員が質問しました。これに対しての町の回答は次のようなものでした。

①生徒の安全面と柔道場が確保できないので剣道を選択した。

②剣道ではジャージを着用し、防具（150万円）は町で用意するので家庭の負担はない。

また放課後の学習支援、小学校の統合問題についての町の回答は次の通りです。

①学校活性化委員会から発案のあった放課後の学習支援は一定の成果があり、更なる充実の声が上がっている。指導教師の確保も課題だが、中学生は試験的に夏休みに拡大してみたい。

町の話題

《放射能問題》 町独自でも 検査、公表を

12月議会で服部議員が放射能問題、特に子どもへの内部被爆に関し学校給食への取り組みを尋ねました。

町としては国や県に準じているのでとくに必要はない、教育長は大町や安曇野市で検査結果を公表しているのを推測すればよい、といった回答でした。

その後全地区（67箇所）の空間測定、会染小・町役場の測定が行われ地表及び地上1mについて基準以下の測定結果が公表されました。また、測定器材の購入とともに貸し出しも行われ

①新保育園は25年3月完成予定、その間北保育園に143名の園児、29名の職員が入る。

②建設工事のやり方については、今後一般質問の内容を踏まえて検討する。

その後、県の教育委員会の方針を受け給食センターでは千葉県産の人参について検査を申し込んだところ、セシウム、放射性ヨウ素とも基準以下でこの結果を2月の給食センター便りで公表しました。

幼児・児童を預ける父母からは、「子どもたちが毎日口にするものなので全部の食材について生産地と測定結果を公表して欲しい」という声が上がっています。したが、3月議会での再度の質問に対しても町の姿勢はおさなりのままです、町は1日も早く検査公表する体制を取ることが求められています。（H）